

裁判員裁判に参加して

○最初は裁判員が務まるのか不安でいっぱいだったが、率直な意見として、本当に貴重な良い経験となった。

○最初は、全然経験がない者が裁判員になっていいのか迷ったが、裁判官と裁判員と一緒に話をし、納得できるようになった。様々な経験ができた。

審理について

冒頭陳述

○事件の概要がすごく簡潔にまとめられている資料が配られたのでイメージが湧きやすかった。

証人尋問・被告人質問

○すごく分かりやすかった。誰が聞いても、何を言わせたいのかが想像できるような質問だった。

○誰の証言だったのか覚えきれないものがあったが、他の裁判員との話し合いの中で記憶喚起できた。

刺激証拠

○再生中に検察官から「今から刺激証拠が画面に出る」という説明があったし、事前にも、どんな映像が出るかの説明もあった。

○写真が出てきたので衝撃は感じたが、顔にモザイクする等、配慮を感じた。



裁判員を務める上での負担感など

○守秘義務については、話していいこと、ダメなことをきちんと教えてくれたので、そこまで負担には思わなかった。

裁判員等経験者との 意見交換会

令和6年11月22日、盛岡地方裁判所では、5人の裁判員等経験者と裁判官、検察官、弁護人の法曹三者が参加して、裁判員裁判の運営改善のための意見交換会を開催しました。経験者の方からいただいたご意見の一部をご紹介します。

審理期間

○その場の雰囲気や休憩をとってもらったり等、裁判官の気遣いもあった。

○最初に審理スケジュール案をもらっていたが、それより早めに終わる日もあったので、負担感はなかった。

○土日を含んでいたため、その間に色々考えることもできた。負担感はなく、適切に審理できた、という印象。



意見交換会を傍聴した大学生からこんな質問が

Q：裁判員になった際、身近な人からのどのような配慮が良かったですか？

A：家族から「おつかれさま」という言葉をかけてもらったのが嬉しかったです。



評議、判決について

○誰でもいつでも話していい、ということで、すごく話しやすかった。また、意見がまとまらなくても、同時に質問したりもできたので、すごく話しやすかった。

○裁判長からは「〇〇の点についてはどうか」とポイントを絞って質問してもらえたので、意見を表明しやすかった。

○自分なりの意見を持って臨むが、別の考え方を聞くことにより、刺激があった。被告人の今後を考えた評議もできた。

○良い判決文だった。被告人に聞いてもらって、一生懸命考えたチームの思いが少しでも響いてくれればうれしい。



これから裁判員となられる方へ

○裁判員と聞いて不安になる方がほとんどだと思う。最初はマイナスなイメージだが、経験してみるとすごく貴重な時間だった。

○やりたくても当たらないとできないので、当たったら全力で頑張してほしい。

ご参加いただいた皆さま、ありがとうございました！

裁判員等経験者との意見交換会開催概要

開催日時

令和6年11月22日（金）午後2時から午後4時まで

会場

盛岡地方裁判所大会議室（5階）

参加者

1 裁判員等経験者

○現住建造物等放火被告事件の裁判員経験者（女性・30歳代）

○傷害致死被告事件の裁判員経験者（男性・30歳代）

○強盗・強姦等、銃砲刀剣類所持等取締法違反、強制わいせつ、暴力行為等処罰に関する法律違反、脅迫被告事件の裁判員経験者（男性・50歳代）と補充裁判員経験者（女性・50歳代）

○殺人被告事件の裁判員経験者（女性・50歳代）

2 裁判官：佐々木耕（盛岡地方裁判所 刑事部判事）

3 検察官：神谷佳奈子（盛岡地方検察庁 三席検事）

4 弁護士：長谷川博一（岩手弁護士会所属）

5 司会者：中島真一郎（盛岡地方裁判所 刑事部総括判事）

傍聴

報道機関3名 大学生5名（引率1名）

